

令和8年度 江戸川区立松江第二中学校 学校経営方針

江戸川区立松江第二中学校

校長 鈴木 啓之

1 本校の教育目標

- すすんで学ぶ生徒
- 心の豊かな生徒 ・ ・ ・「学び」「心」「健康」を常に念頭に置く
- 健康でたくましい生徒

2 目指す生徒の姿

- 自分以外の多様な人を受け入れ、優しく温かい生徒
- 思いやりの気持ちと豊かな心を持ち、ルールを守る生徒
- 意欲的に学力向上に努力する生徒
- 積極的に体力向上に努力する生徒

3 目指す学校の姿

“生徒第一義の学校” ・ ・ ・ “生徒のために” 何が最も良いか？答えは自ずと出てくる

- 生徒一人一人の可能性を信じ、生徒の成長を第一とする学校
- 生徒自身の人生の基盤をつくることのできる学校
- 生徒が夢を持ち、生徒の輝く笑顔がいつも見られる学校
- 生徒・保護者・地域から信頼される学校

4 目指す教職員の姿

“人に温かく 仕事に厳しく 服務に厳正 かつ仲間に優しい プロフェッショナル集団”

- 生徒の成長を第一とし、常に専門職としての資質・能力の向上に努める教職員
- 「師弟同行」を胸に刻み、胸を張って生徒指導に取り組める教職員
- 組織の一員として職責を十分理解し、互いに学び合い、高め合える教職員
- 前例踏襲にとらわれず、新しい教育活動を実践できる創造力豊かな教職員
- 生徒・保護者・地域の方・教職員に対しても優しく温かい対応ができる教職員

5 今年度の重点目標 「持続可能で発展的な、魅力ある教育活動の実践」

※80周年を前に、様々な面で、今後継続していく“松ニスタンダード”の構築

- ◎確かな学力の向上 “誰一人取り残さない学力向上”
- ◎人権尊重を基盤にした生徒指導 “生徒への愛情を根底に、寄り添い、包むこむ指導”
- ◎将来的な国際人としての健全育成 “2030年の未来・地球規模の視野でのSDGs教育”

6 今年度(令和8年度)の重点推進項目

(1) 学習指導

① 授業スタンダードの継続 “授業の成就感を常に”

・・・目標提示→ICT・タブレット活用、個別最適・協働学習→振り返り
授業内の振り返りの継続 5分前チャイム(音)の活用

② プレゼンテーション力(構成力・表現力・説得力)の育成

・・・発表活動 成果物等の一層の拡大
上級学年の発表を見る機会を設ける

(2) 生活指導

① より良い生活リズムの呼びかけ

・・・家庭学習、運動、余暇の見直し・工夫を L G a t e の活用
スマホ・ゲーム時間の減少→学習時間(読書)の増加

② 人権尊重意識の一層の徹底

・・・教員自らの言動で示す 良い接遇で信頼関係をつくる
いじめに関する授業の充実

(3) 特別活動・その他

80周年に向けて、各行事や委員会活動でより良いスタンダードを目指す

(4) 研修の充実 “元気な教員が、元気な学校をつくる”

教員全員で、授業力向上(評価を工夫し、改善に生かす)に取り組む

7 重点目標達成のための具体的方策

(1) 人権尊重 “生徒も保護者も教職員も地域の方々もみんな大切な存在”

- ① 共生社会の考えを基盤にした、差別や偏見のない環境づくり
- ② 教育の場にふさわしい「言語環境」 NO ハラスメント

(2) 安全第一 “安全安心があつてこそ教育が始まる”

- ① 授業中の安全指導
- ② 学校生活全般の安全指導
- ③ 生徒の視点にたった、学校内外の安全管理
- ④ 不審者侵入、火災、地震、水害等非常時の分担や職務の明確化
- ⑤ 保護者・地域との積極的な連携

(3) 学習指導 “誰一人取り残さず、学び続ける生徒を育てる”

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善
・・・目標の提示、学習活動の明確化（グループ活動の工夫）、振り返りの定着
- ② 指導と評価の一体化と評価材料の工夫
- ③ 「思いやりの心」を育成する道德教育の推進
- ④ 読書科を中心とした探究活動の推進、作品コンクールへの参加
- ⑤ SDGs 学習をテーマに宿泊行事・校外学習の継続
- ⑥ 躊躇なく英語を話す生徒の育成

⑥ 生活指導 “厳しさの中に優しさ・温かさを秘めた指導”

- (ア) 様々な自己選択や自己決定の機会の提供と適切な指導と援助
- (イ) 問題行動への一貫性ある指導
- (ウ) 情報共有と迅速な対応・・・L-Gate の有効活用
- (エ) 深い生徒理解に基づき、生徒の内面に迫る指導
- (オ) いじめの未然防止・早期発見・早期解決・・・いじめ授業の充実
- (カ) 不登校の初期対応の徹底と支援の充実・・・短・中・長期的な視点での具体策提示

⑦ 進路指導 “生徒の未来は、この国の未来につながっている”

- (ア) キャリア教育の視点の重視
- (イ) 体験的学習（チャレンジザ・ドリーム）の充実
- (ウ) マイキャリアノートの活用

⑧ 健康指導(保健給食) “健全な生活の中で心と体の成長を促す”

- (ア) 養護教諭との緊密な連携
- (イ) 生活習慣の改善のよびかけ
- (ウ) 食育の一層の充実・・・食育授業の実施
- (エ) アレルギー対応の丁寧・適切な対応

⑨ **特別支援教育 “一人一人にきめ細かく寄り添う心としくみを”**

- ①委員会を中心に様々な機関・人員との連携
- ②生徒・保護者の教育的ニーズの把握による、信頼関係の構築
- ③支援を要する生徒の詳細な情報共有と手立ての工夫
- ④関係諸機関との一層の緊密な連携

⑩ **特別活動 “人との関わりの積み重ねで生徒は成長する”**

- ①学級活動や生徒会活動を通しての、自主的・実践的態度の育成
- ②学校行事を通じた、より深い人と人とのかかわり方の育成
- ③ボランティア活動や地域行事への積極的な参加の促進・・・区夏ボラの推進
- ④学校からの情報発信と地域教育力の活用

⑪ **校内研修 “教員の力が伸びれば、生徒の力も伸びる”**

令和4年度・人権尊重教育推進校 研究発表の成果を継続・発展

- (ア)人権課題、SDGs、ユニバーサルデザインを主テーマにした研修の推進
- (イ)学習タブレット端末のより一層の活用推進
- (ウ)習得カリキュラムの確認等小中連携を深める
- (エ)都教職員研修センター主催の研修会、外部研修への参加促進

⑫ **地域・保護者との連携 “この地域を愛する生徒を育てる”**

- (ア)PTA活動・地域行事への積極的な参加・・・可能な限り生徒を見守る場面
- (イ)生徒のボランティア活動の推進
- (ウ)学校応援団の協力による校舎周辺環境整備の継続
- (エ)学校ホームページ、tetoru を活用した情報発信の充実
- (オ)地域と連携した防災教育（安全指導・避難訓練）の充実・・・避難所開設、防災訓練等

⑬ **学校運営 “この区で、またこの学校ですっと働きたい教員を育てる”**

- (ア)各分掌組織の十分な活用
- (イ)ワーク・ライフ・バランスをめざした計画的な「働き方」の推進
- (ウ)「助け合い、学びあい、お互い様」をモットーに
- (エ)適確な事務処理と説明責任
- (オ)tetoru 等区のシステムを有効活用し、業務の効率化を図る

⑭ **サービスの厳正 “サービス事故ゼロは教育活動の「源」点”**

- (ア)一社会人としての自覚の明確化（言動や服装等）
- (イ)法令遵守はもとより、教育公務員としての自覚の明確化
- (ウ)サービス事故ゼロの意識の徹底（個人情報、守秘義務、体罰・飲酒による事故の根絶
- (エ)あらゆるハラスメントの根絶

※PTA組織の改革推進と支援（R5から継続）

- ・昨今の保護者の意識や地域の願いを受け止め、時代の流れに適応した「無理のない、常に生徒のためのPTA活動」の実践
- ・会員同意をもとに、今後の適切な活動を協議
- ・PTA会費の的確な運用と公正な監査の実施
（現状）入会可否確認、総会 Web 決議、会費減額の実現

8 目標数値

① 生徒・保護者アンケート

「目標値 95%以上」 (R6 生徒 94 保護者 92 →○R7 生徒 94 保護者 93)

- ・毎日楽しく学校に登校し、充実した学校生活を送っていますか。
- ・教師との良い信頼関係はできていますか。
- ・友人との人間関係はうまくいっていますか。

「目標値 80%以上」 (R6 生徒 73 保護者 62 →○R7 生徒 80 保護者 83)

- ・早寝早起き・毎日同じ時間に食事をするなど、規則正しいリズムで生活を送っていますか。
- ・将来の夢や目標をもっていますか。(R6 生徒 70 R7 生徒 72)

「目標50%以下に」 (R6 生徒 53% →○R7 生徒 48)

- ・家庭でのスマートフォンやゲームの使用時間 2時間以上

② 全国学力調査 前年度よりも都平均に近づける

R6 都平均より国語-7 数学-4。国語は変化なし、数学は1ポイント改善。

R7 都平均より国語-3 数学-5(-1)。国語は+4、数学は-1。

③ いじめ・重大事態 ゼロ 継続

④ 服務事故 ゼロ 継続